

「いのち」と「愛」に着目する子育て/岡本富郎著より

クリスチャンとして保育学者としてのべ 5000 人の相談を受けてきたエキスパートの先生です

子育てワンポイント 励ましのことば26

バックナンバーはHPからご覧頂けます

しっかりと問題に向き合うことで、気づくことがあると思いきり取り上げてみます。

「子育ての問題」について

1970年代頃までは、近所で同年代や異年齢で遊ぶ事を通して、遊びのルールや、付き合い方も身に着けることができていましたが、今ではそういう機会がかなり少なくなっています。これは子どもの成長に見逃せない問題です。

また、家族がいわゆる「ホテルファミリー」になっている事もあります。家への出入りの時間は自由、食事バラバラです。これでは、お互いようすも分かりませんし、学校で起っていることを、顔を合わせて家族で話し合うことなしに、お互いの理解は望めません。せめて食事が一緒にできれば、食事中に日常のことを話し合えます。また、この親子の「接触時間」については、食事時間だけでなく、「親子での遊び時間」の少なさとして目立っています。

別の子育ての問題は、「子育てについて近所に相談する相手がいない」こと。複雑な社会にあって、どのように育て、どのような力を身に着けさせたらよいか、「子育ての考え方」が見えにくくなっています。そうなると、とりあえず、学校の成績をあげて、大学に進学させ、安定した企業に就職させて…となってしまいます。

私たち大人が、日常「いのち」を大切に、「愛」をもって暮らすこと。そして地域でお互いが心を配りながら声を掛けあってゆくことが求められています。

* 親子や夫婦の接触時間は、物理的な時間・空間だけでなく、一緒にいてもそれぞれテレビやスマホを見ているという問題もあります。クオリティ・オブ・ライフ。まずは今日一日、自分のしたいことを少し横に置いて、子ども目線で遊んであげたいですね。
「共に喜び、共に泣く」という聖書の価値観が実現しますように。 牧師 倉知契



God is good all the time!
瀬戸カルバリーチャペル

「子育てワンポイント」バックナンバーは、HPからご覧頂けます。
主日礼拝と木曜祈禱会を YouTube で配信中！

